

2017年3月期 決算説明資料

2017年5月10日

株式会社 **ダイセル**

目 次

2017年 3月期 業績	P 3 ~ P 5
2018年 3月期 見通し	P 6 ~ P 7
株主還元	P 8
設備投資額推移 / 減価償却費推移	P 9
セグメント情報	P 10 ~ P 13
参考資料	P 14 ~ P 18

2017年3月期業績

(単位：億円)

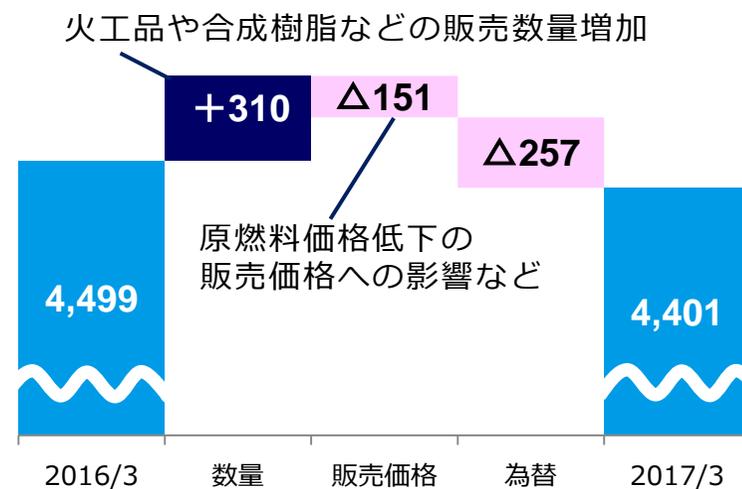
	2016/3	2017/3	増減	増減率
売上高	4,499	4,401	△98	△2.2%
営業利益	643	643	△0	△0.1%
経常利益	654	662	+8	+1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	403	432	+29	+7.2%
為替レート(USD/JPY)	120 円	109 円		
ROE	12.2%	12.2%		

- 火工品や合成樹脂などの販売数量が増加したものの、為替が前期より円高で推移したことなどにより、減収
- 営業利益はほぼ横ばい
- 経常利益、当期純利益は、過去最高を更新
- 11月に公表した業績予想に対しては、売上高から純利益まで予想を上回った

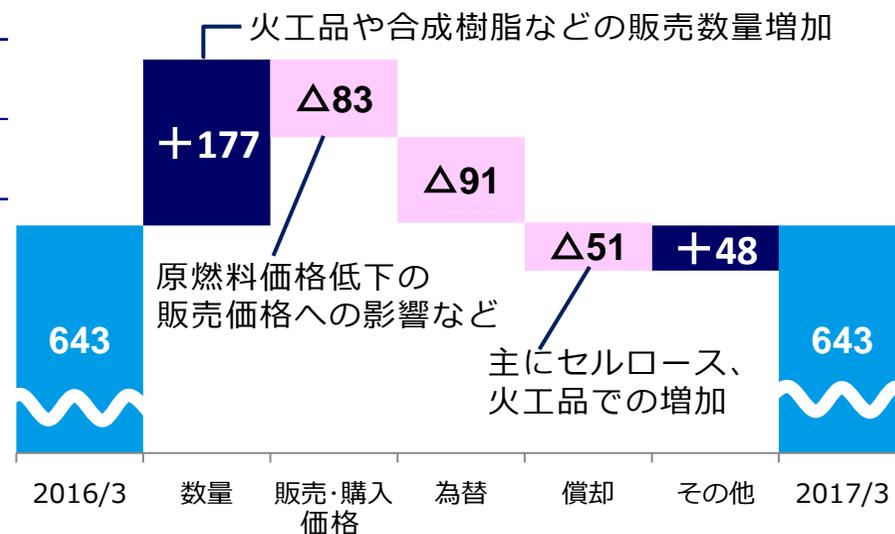
連結損益計算書

	(単位:億円)			
	2016/3	2017/3	増減	増減率
売上高	4,499	4,401	△ 98	△2.2%
売上総利益	1,338	1,368	+30	+2.2%
販売費及び一般管理費	695	725	+30	+4.4%
営業利益	643	643	△ 0	△0.1%
営業外損益	11	19	+9	+81.1%
経常利益	654	662	+8	+1.2%
特別損益	△ 19	△ 18	+1	—
税金等調整前当期純利益	635	644	+9	+1.4%
法人税等	169	142	△ 27	△15.9%
非支配株主に帰属する当期純利益	62	69	+7	+11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	403	432	+29	+7.2%
為替レート(USD/JPY)	120 円	109 円		

【売上高 前期比較】



【営業利益 前期比較】

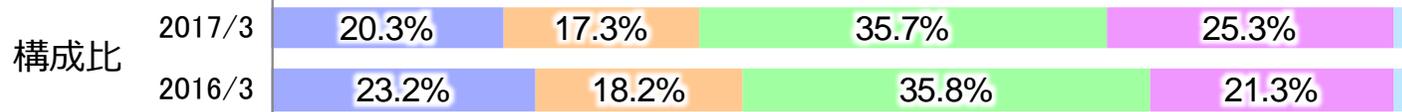


セグメント別 売上高・営業利益分析

(単位：億円)

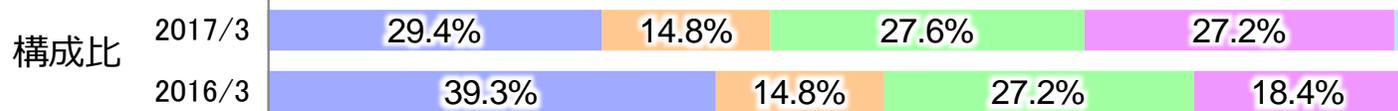
【売上高】

	2016/3	2017/3	増減	増減率	分 析	
					数量差	単価差
セルロース	1,045	895	△150	△14.4%	△ 44	△ 107
有機合成	818	762	△56	△6.8%	3	△ 59
合成樹脂	1,611	1,569	△41	△2.6%	122	△ 164
火 工 品	959	1,112	+153	+15.9%	231	△ 78
そ の 他	66	62	△4	△5.5%	△ 4	
合 計	4,499	4,401	△98	△2.2%	310	△ 408



【営業利益】

	2016/3	2017/3	増減	増減率	分 析		
					数量影響	価格影響	その他
セルロース	297	230	△67	△22.5%	+7	△ 50	△ 24
有機合成	112	115	+4	+3.2%	+10	△ 27	+21
合成樹脂	205	216	+10	+5.1%	+52	△ 71	+29
火 工 品	139	213	+74	+53.3%	+101	△ 25	△ 2
そ の 他	2	7	+6	+309.4%	+6	0	0
全 社	△111	△138	△27	△24.7%	0	0	△ 27
合 計	643	643	△0	△0.1%	+177	△ 174	△ 3



2018年3月期業績見通し

(単位：億円)

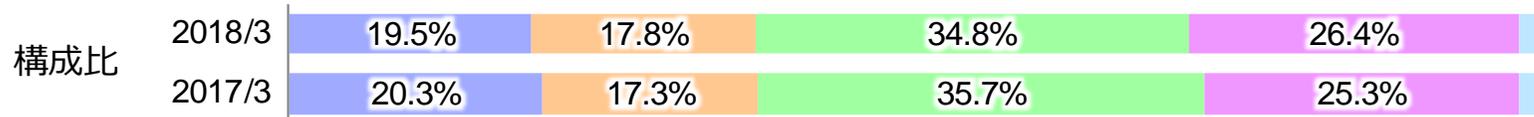
	2017/3 実績	2018/3 見通し	増減	増減率
売上高	4,401	4,600	+199	+4.5%
営業利益	643	610	△33	△5.1%
経常利益	662	620	△42	△6.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	432	370	△62	△14.3%
為替レート(USD/JPY)	109 円	110 円		
【参考】メタノール (アジアスポット価格, USD/ton)	277 USD	300 USD		

たばこフィルター用トウや自動車エアバッグ用インフレーターなどの販売数量の増加を見込むが、網干工場(2年に1度)の定期修繕や原燃料価格の上昇などの影響により、増収減益の見通し。

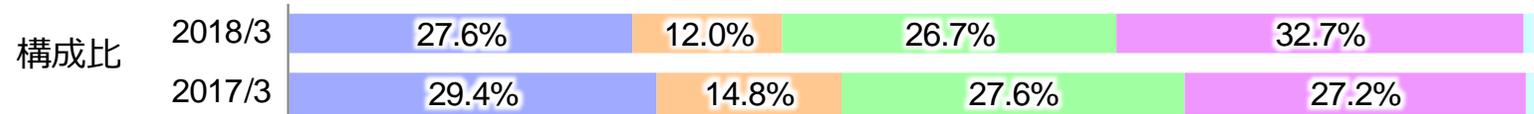
セグメント別 売上高・営業利益の見通し

(単位：億円)

【売上高】		2017/3	2018/3	増減	増減率
セルロース		895	897	+2	+0.3%
有機合成		762	820	+58	+7.6%
合成樹脂		1,569	1,600	+31	+1.9%
火工品		1,112	1,215	+103	+9.3%
その他		62	68	+6	+8.9%
合計		4,401	4,600	+199	+4.5%



【営業利益】		2017/3	2018/3	増減	増減率
セルロース		230	207	△23	△10.0%
有機合成		115	90	△25	△22.0%
合成樹脂		216	200	△16	△7.2%
火工品		213	245	+32	+15.1%
その他		7	8	+1	+8.0%
全社		△138	△140	△2	△1.4%
合計		643	610	△33	△5.1%



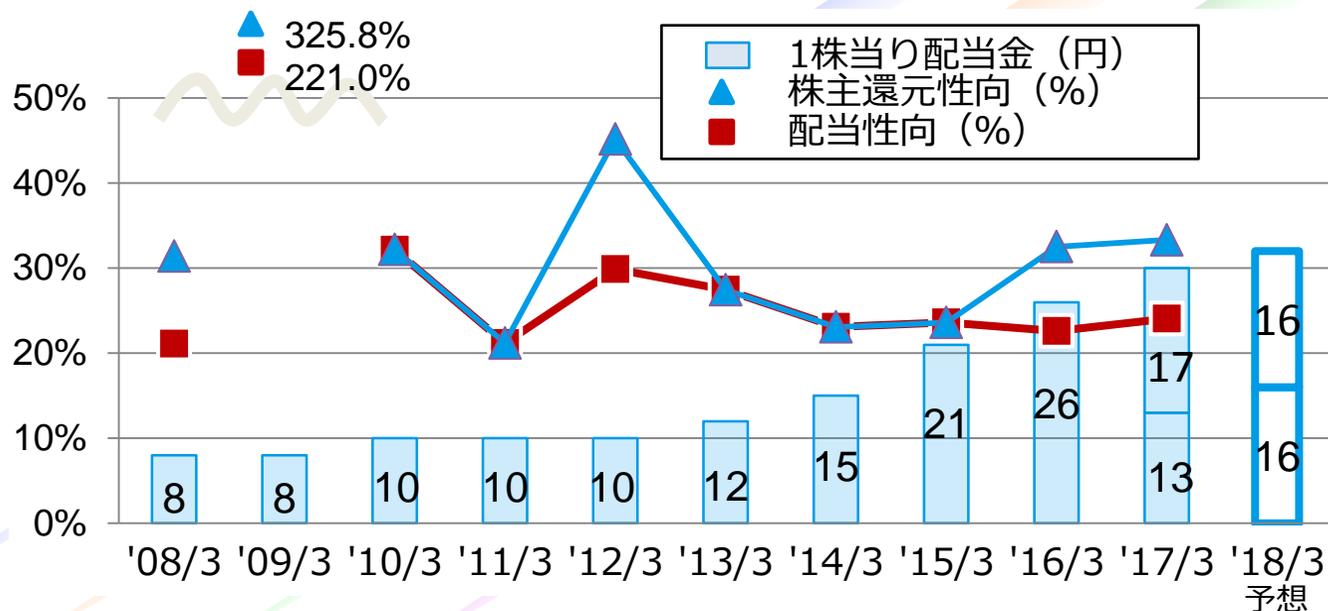
2017年3月期

期末配当	1株につき17円
年間配当	1株につき30円 (前年度比4円増配)

株主還元性向：33.3%

2018年3月期

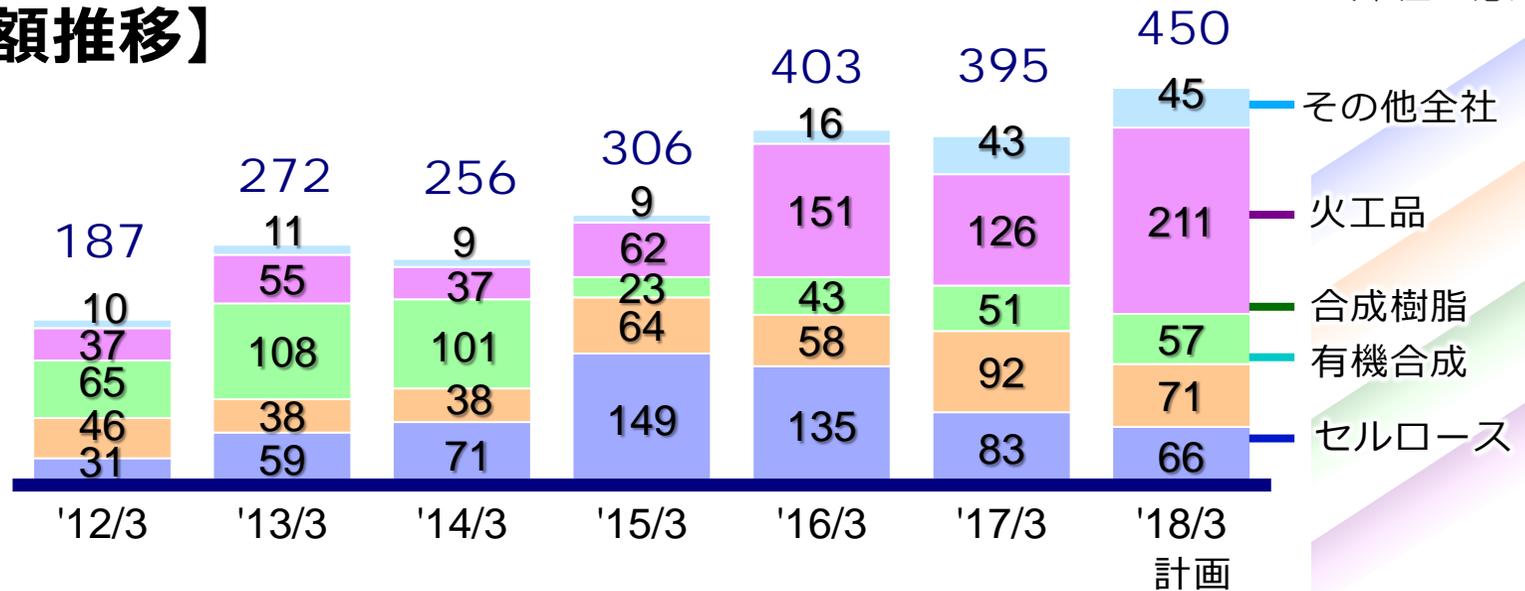
年間配当予想：1株につき32円



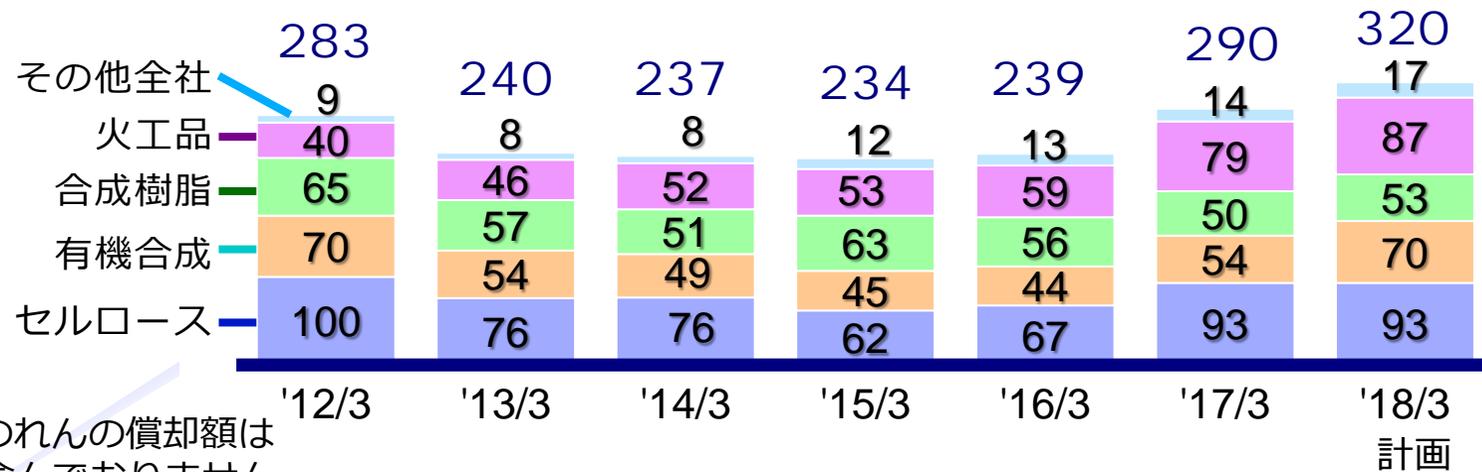
設備投資／減価償却

(単位：億円)

【設備投資額推移】



【減価償却費推移】



(注) のれんの償却額は含んでおりません。

【セグメント情報】セルロース

2017年3月期

売上高は、前年度比△150億円 (為替影響 △68億円)

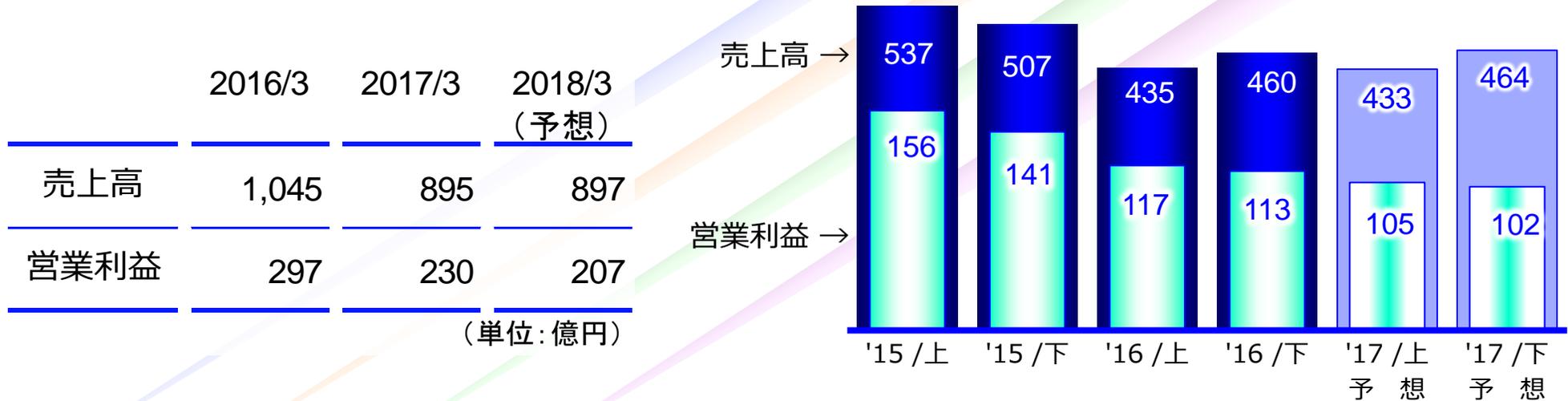
- 酢酸セルロースは、たばこフィルター用途などが減少し、減収。
- たばこフィルター用トウは、販売数量は増加したが、為替の影響などにより、減収。

営業利益は、前年度比△67億円

- 為替の影響や減価償却費の増加などにより、減益。

2018年3月期見通し

- 酢酸セルロースは、液晶フィルム向けTACはほぼ横ばい。たばこフィルター用途の販売数量は増加。
- たばこフィルター用トウは、販売数量は増加するが、需給環境悪化などにより販売価格が低下。
- セグメントでは、増収減益の見通し。



(単位: 億円)

【セグメント情報】有機合成

2017年3月期

売上高は、前年度比△56億円（為替影響 △27億円）

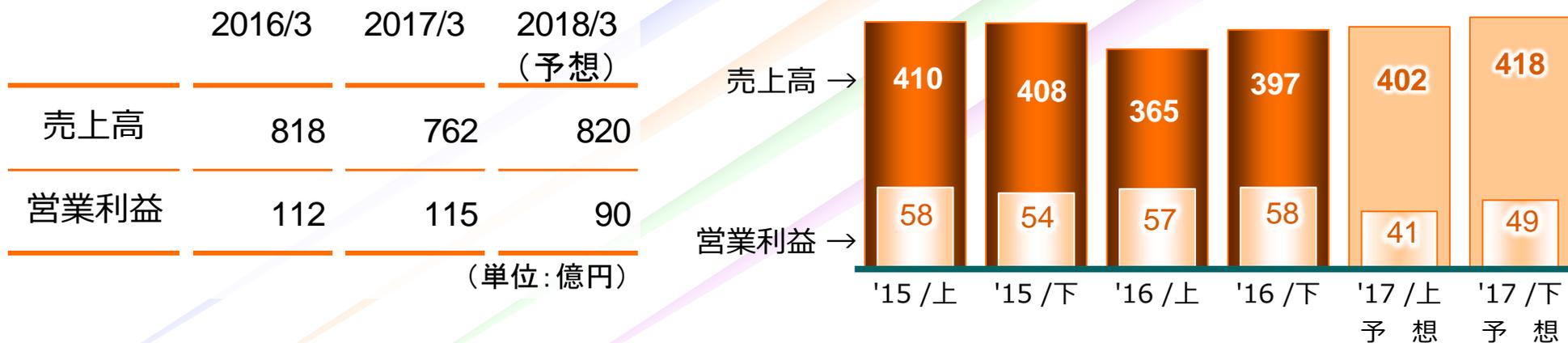
- 有機合成品では、網干工場の定期修繕のスキップ年で、酢酸ほか合成品の販売数量は増加したが、為替の影響や原燃料価格低下に伴う販売価格への影響により、減収。
- 機能品は、電子材料分野、コスメ・ヘルスケア分野での需要が堅調で、増収。
- キラル分離事業は、カラム販売は好調だが、為替の影響で減収。

営業利益は、前年度比+4億円

原燃料調達価格の低下などにより増益。

2018年3月期見通し

- 販売数量の増加により増収を見込むが、原燃料価格上昇の影響を受け減益の見通し。



【セグメント情報】 合成樹脂

2017年3月期

売上高は、前年度比△41億円 (為替影響 △90億円)

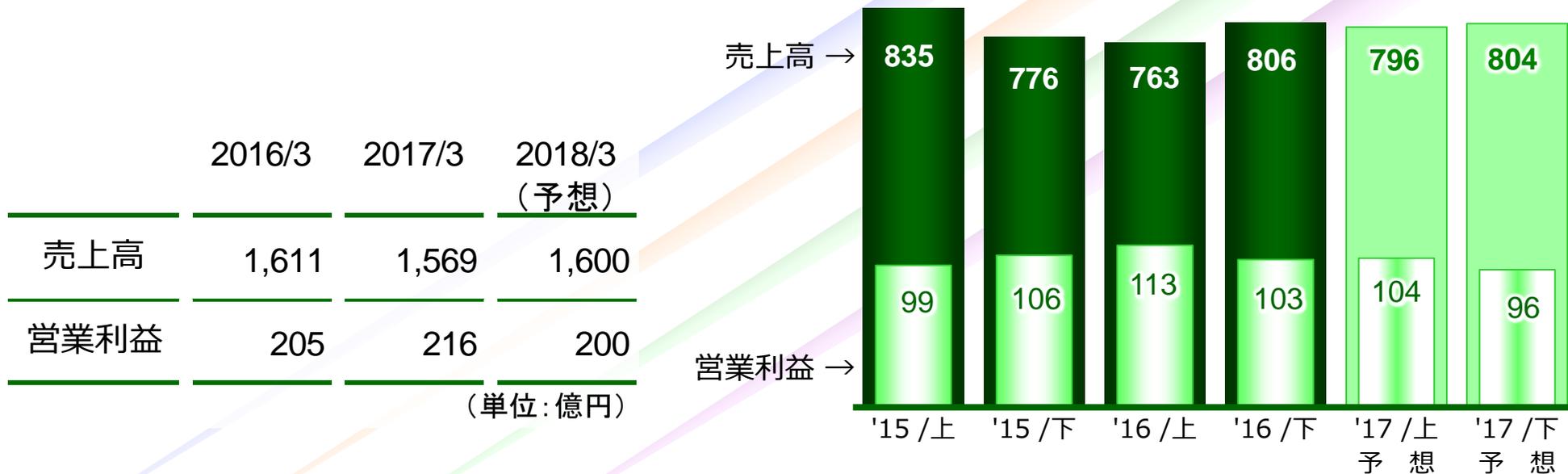
- エンジニアリングプラスチックは、販売数量が増加したものの、為替の影響や原燃料価格低下に伴う販売価格への影響などにより、減収
- 樹脂コンパウンドは、販売数量増加も、為替の影響や原油価格低下に伴う販売価格への影響などにより、減収

営業利益は、前年度比+10億円

- 販売数量の増加により増益

2018年3月期見通し

- 樹脂コンパウンドやフィルムの販売が増加し増収を見込むが、原燃料価格上昇の影響などにより減益の見通し



【セグメント情報】 火工品

2017年3月期

売上高は、前年度比+153億円 (為替影響 △72億円)

- 自動車安全部品事業は、為替の影響を受けたが、インフレータの販売数量増加などにより、増収

営業利益は、前年度比+74億円

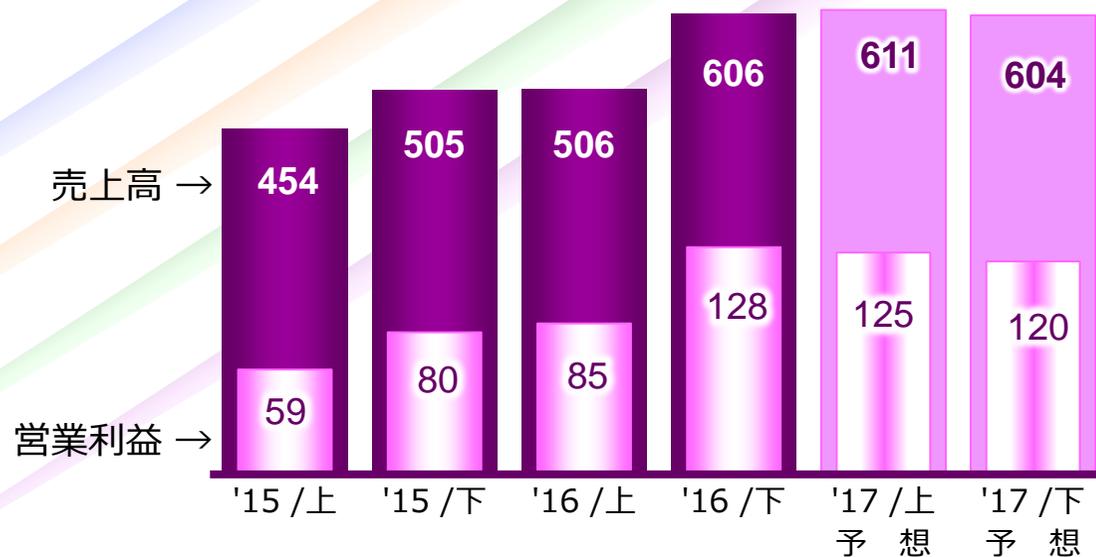
- インフレータの販売数量の増加により増益

2018年3月期見通し

- 引き続き、インフレータの販売数量が増加し、増収増益の見通し

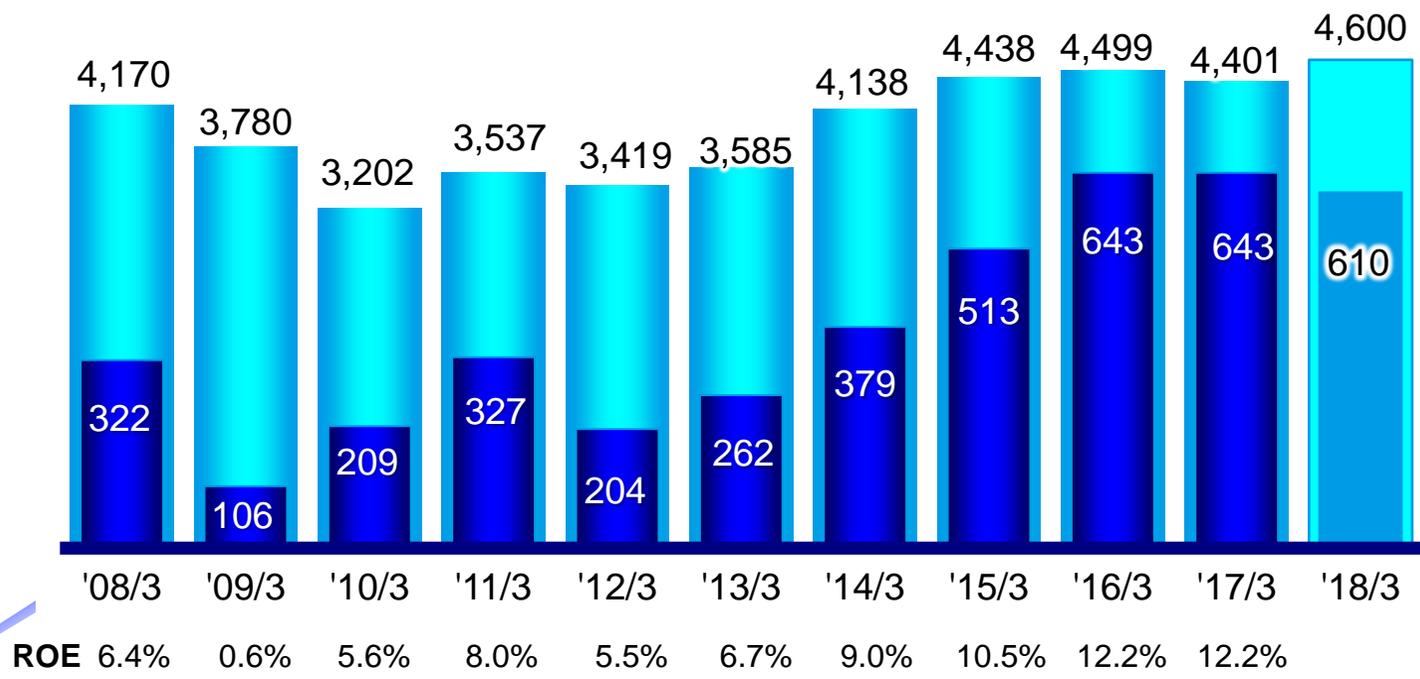
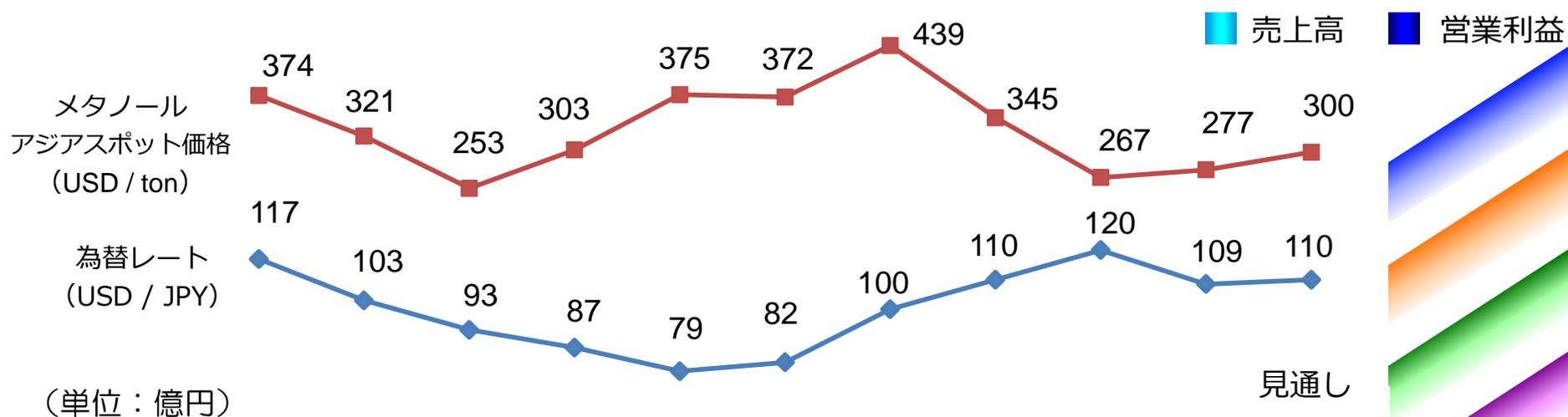
	2016/3	2017/3	2018/3 (予想)
売上高	959	1,112	1,215
営業利益	139	213	245

(単位: 億円)



参 考

売上高・営業利益の推移と見通し



	2017/3		2018/3		
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画	
為替レート(USD/JPY)	105円	111円	110円	110円	
原料	メタノール (アジアスポット価格)	USD 230/ton	USD 327/ton	USD 300/ton	USD 300/ton
	原油(ドバイ)	USD 43/bbl	USD 51/bbl	USD 55/bbl	USD 55/bbl
	国産ナフサ	31,450円/kl	38,050円/kl	42,000円/kl	42,000円/kl

2018年3月期 セグメント別業績見通し

(単位：億円)

	2017年3月期実績			2018年3月期見通し			年間 増減
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	
売上高	2,098	2,303	4,401	2,275	2,325	4,600	+199
セルロース	435	460	895	433	464	897	+2
有機合成	365	397	762	402	418	820	+58
合成樹脂	763	806	1,569	796	804	1,600	+31
火工品	506	606	1,112	611	604	1,215	+103
その他	29	34	62	33	35	68	+6
営業利益	306	337	643	305	305	610	△33
セルロース	117	113	230	105	102	207	△23
有機合成	57	58	115	41	49	90	△25
合成樹脂	113	103	216	104	96	200	△16
火工品	85	128	213	125	120	245	+32
その他	3	4	7	3	5	8	+1
全社	△68	△70	△138	△73	△67	△140	△2
経常利益	295	367	662	310	310	620	△42
親会社株主に帰属する 当期純利益	191	241	432	180	190	370	△62
為替レート (USD/JPY)	105 円	111 円	109 円	110 円	110 円	110 円	

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2016年 3月末	2017年 3月末	増減	備 考
流動資産	2,768	3,072	+304	
現預金及び有価証券	667	969	+302	
受取手形及び売掛金	845	883	+39	
棚卸資産	1,049	1,007	△42	
その他	208	213	+5	
固定資産	2,834	2,925	+91	
有形固定資産	1,756	1,852	+96	取得+386、償却 △275、為替換算差△7、その他△8
無形固定資産	113	96	△17	
投資その他資産	964	977	+12	投資有価証券+30
資産合計	5,602	5,997	+395	
負債	1,915	2,003	+88	
有利子負債	713	723	+10	有利子負債比率 12.1%
その他	1,202	1,280	+78	
純資産	3,687	3,994	+307	自己資本比率 61.6%
負債純資産 合計	5,602	5,997	+395	

ミライをつくるの

未来!



予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

株式会社ダイセル

